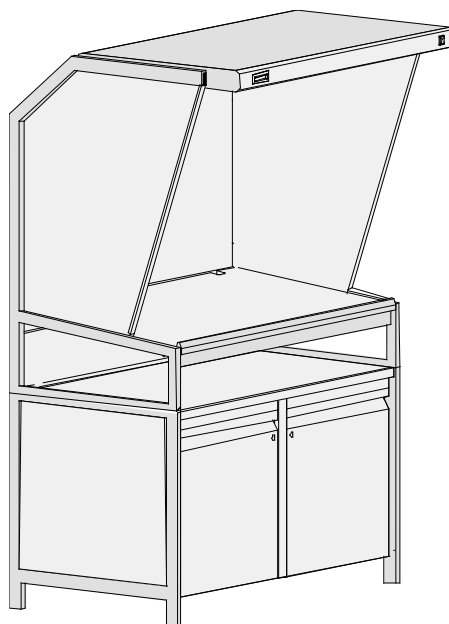
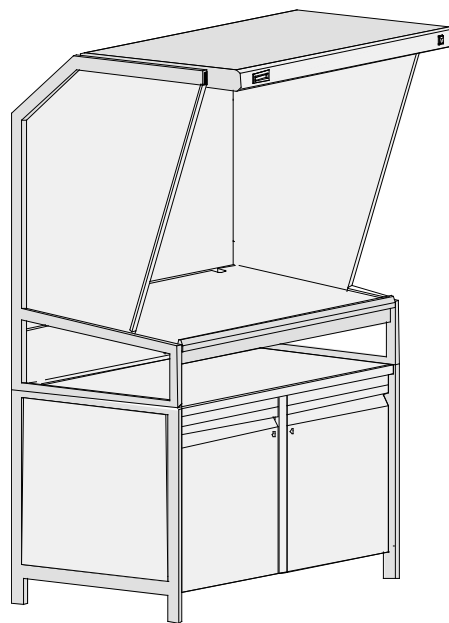
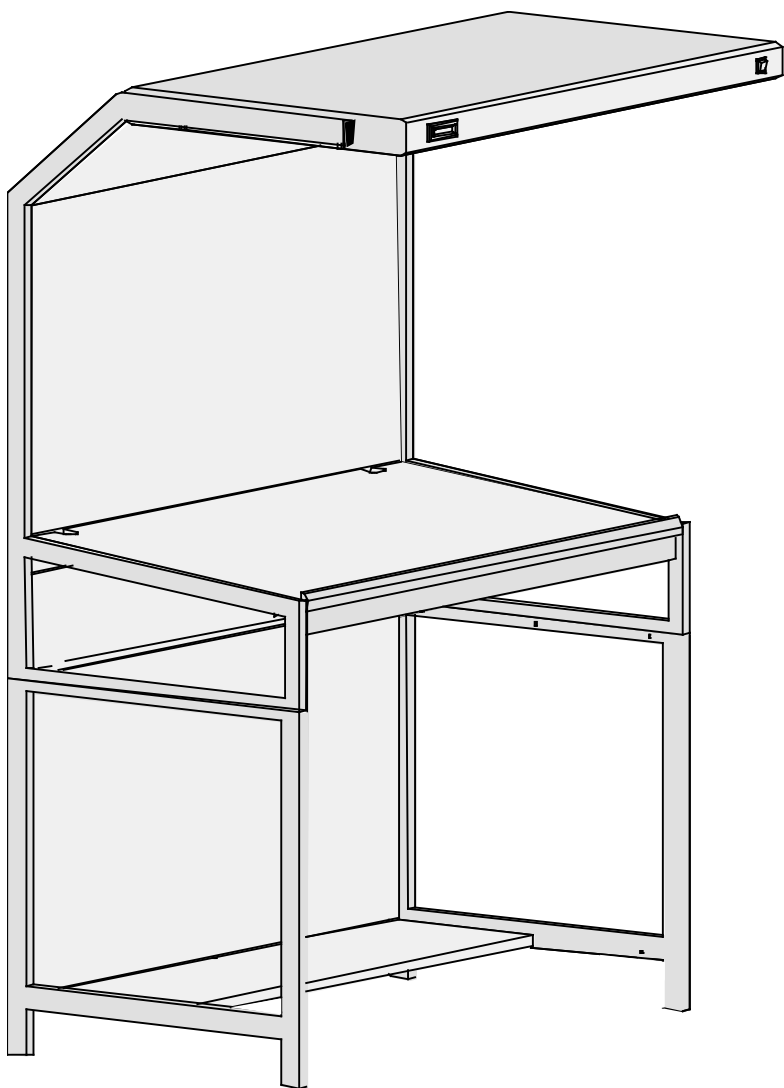
EVS EXECUTIVE VIEWING STATION

組立と取扱説明書
EVS-1

組立と取扱説明書
EVS-1

グラフィックライト・エクスクルーシブビューイングステーションの組み立ては、以下の手順で行ってください。
ISO (International Standards Organization) 3664：2000 に準拠した環境がビューイングステーションで得られます。

別売りでビューイングステーションに取付けられるカラートランスパレンシービュワーは、ビューイングステーションの D5000 ライトとの併用により、ポジフィルムとプルーフを比較することを可能にします。
CVX-1 は、オプションの KT-44X、KT-30X、KT-20X 等の内蔵キットを購入することにより、GLX-44、GLX-30、GLX-20 等のトランスパレンシービュワーをビューイングステーションの正面に設置することが可能となります。
また、EA-10 や EA-16/20 という調節可能なエクステンションアームを使用すれば GLX-10、GLX-16 および GLX-20 モデルが、EVS–2 において使用可能になります。

輸送時のダメージについて

グラフィックライト・エクスクルーシブビューイングステーションを組立てる前に、製品にダメージがないか調べて下さい。例えば、ルミナーレ（照明器具）本体のへこみや、ディフューザ、ランプ等の破損が有った場合は、販売店に連絡してください。

荷を解いたら

EVS-2 は二つの別々の箱で出荷されます。一つにはビューイングステーションが入っており、もう一つにはルミナーレ（照明器具）が入っています。

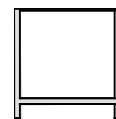
ルミナーレ（照明器具）

グラフィックライト・ルミナーレは EVS-1 の一部分であり、特別仕様の蛍光灯が適所に配置されております。これは箱から取り出されれば、組み立てること無く直ちに EVS-2 に取り付け可能です。

ビューイングステーション

ビューイングステーションは幾つかのコンポーネント部品から構成されています。次のページのコンポーネントパーツリストをチェックして、必要なパーツが揃っていることを確認して下さい。

EVS-2 のコンポーネント部品

A* レッグフレーム　２個 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

B* ボトムハーフシェルフ　１枚 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

C* 下部リアパネル　１枚 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

D 上部サイドフレーム　２個 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

E フロントテーブルサポート　１個 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

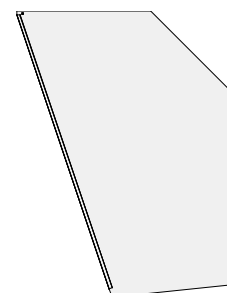
F 最上部パネル　１枚 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

G 上部リアパネル　１枚 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

H 中間リアパネル　１枚 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

I 作業台（グレイラミネート済）１枚 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

J コピーグリップ　１本 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

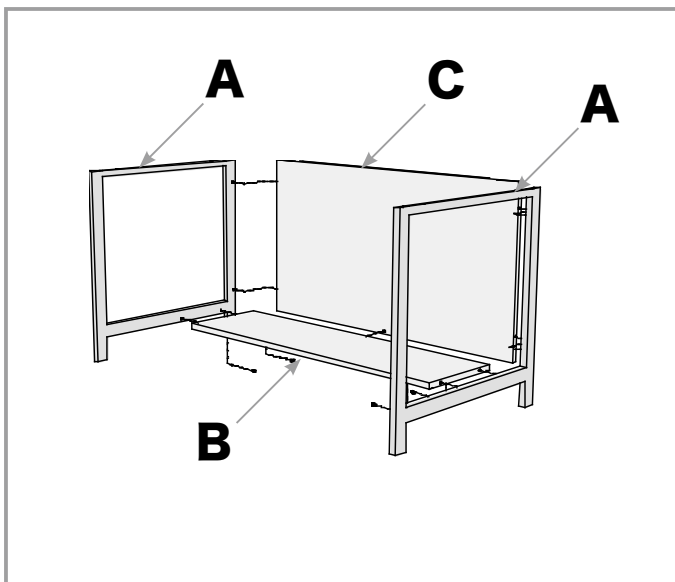
K サイドウオール　２枚　（別売り）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

＊注意：
もし、８段引出しや２ドアキャビネットを同時にご注文いただいた場合は、* 印のパーツは含まれません。

ルミナーレ（照明器具）本体　１個

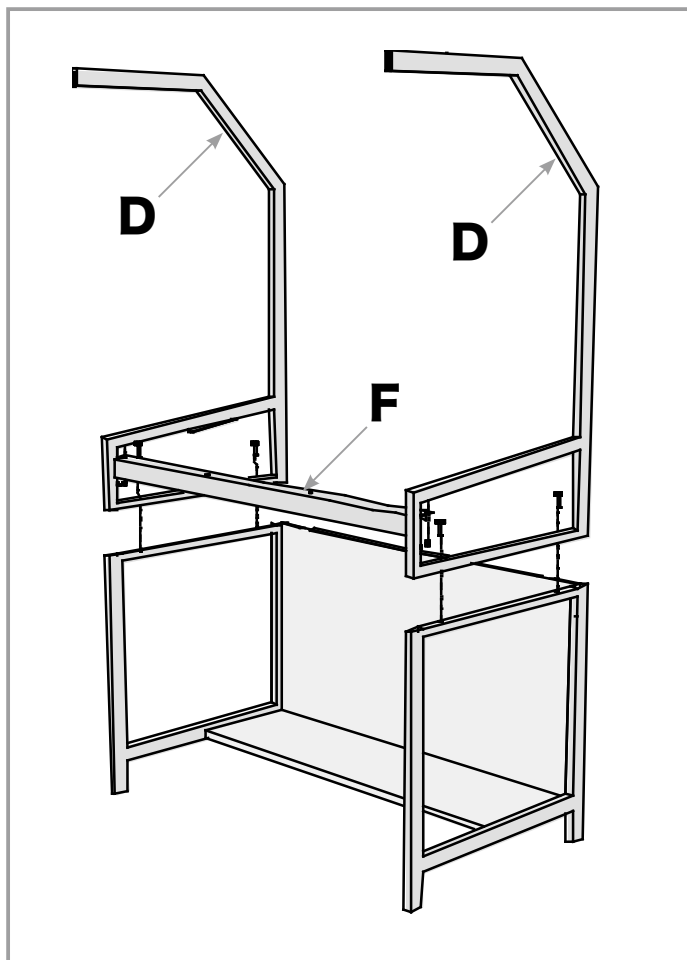
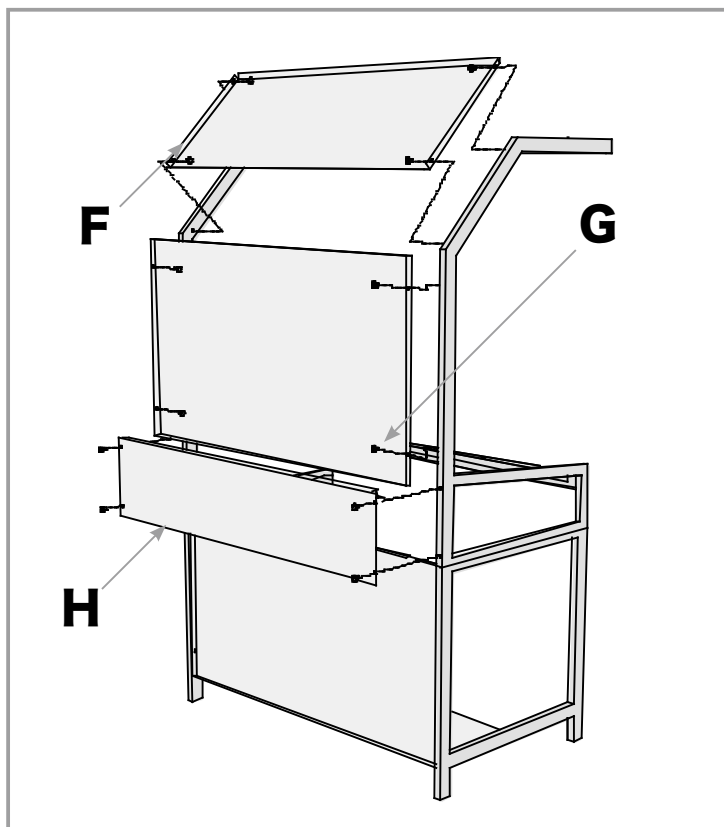
38mm プラスボルト　４本
25mm プラスボルト　４本
19mm プラスネジ　４本
13mm プラスネジ　８本
13mm ワッシャー付プラスネジ　17 本
グレイネジカバー　17 個
13mm 木ネジ　４本
アングルクリップ　４個

EVS-1 の組立

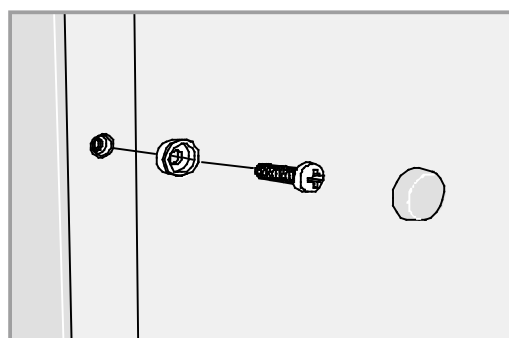
Step 1

はじめに一つのレッグフレーム（A）をもち、2 個の 13mm プラスネジを使ってボトムハーフシェルフ（B）の端に取り付けます。次いで、もう一個のレッグフレーム (A) を同じ様に 2 個の 13mm プラスネジを使って取り付けます。下部リアパネル（C）を両側面フレームとシェルフパネルに図のように取り付けますが、このとき刻み目の付けられた端が上になることを確実に実行して下さい。

Step 2

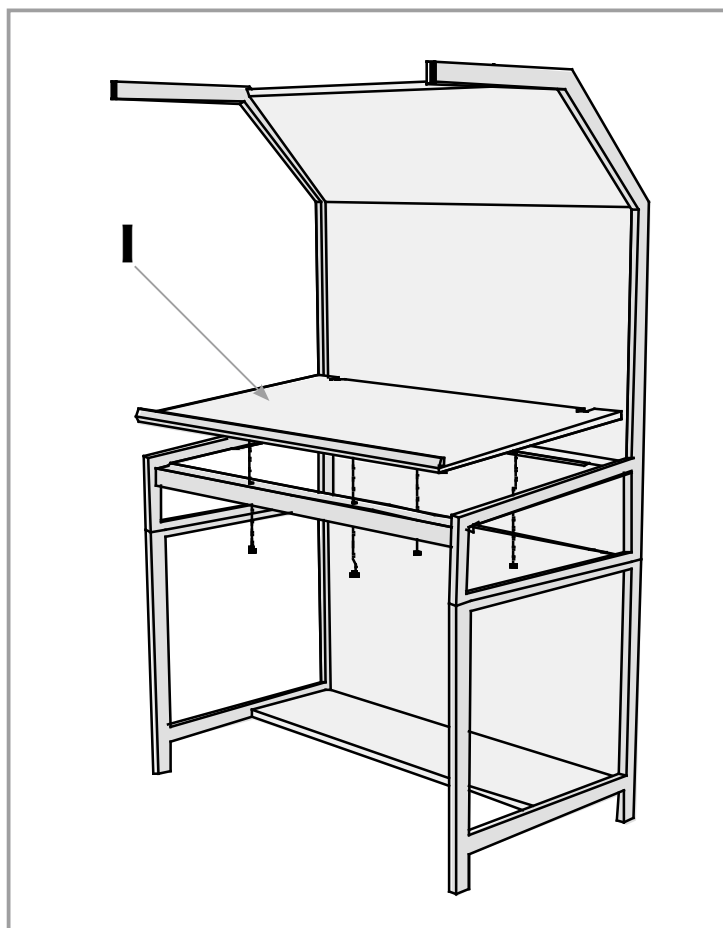
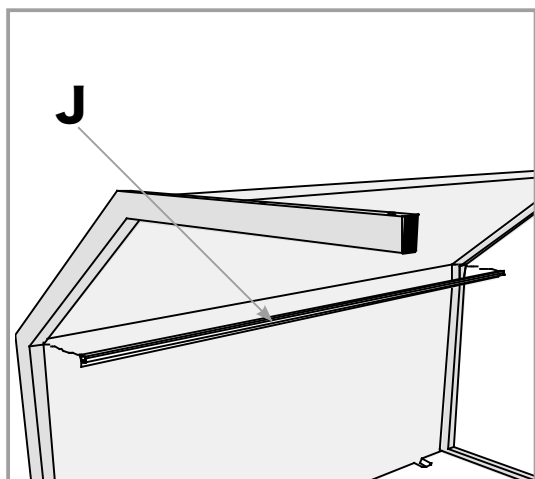
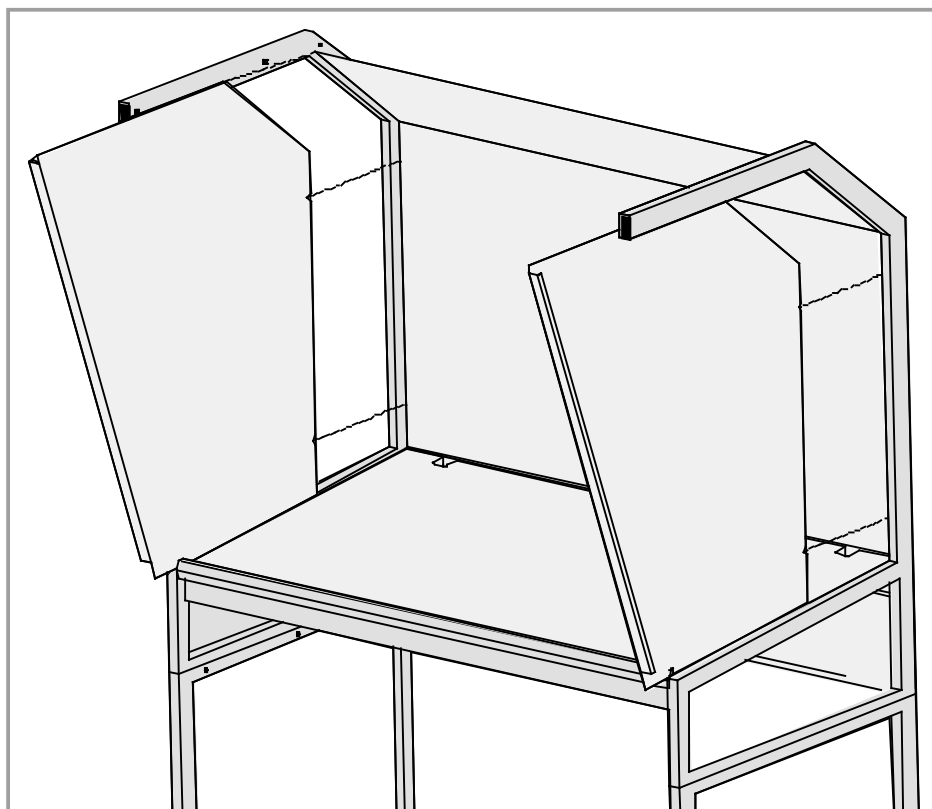
先ずビューイングサポートタブが内側に来るように上部サイドフレーム（D）の一つをレッグフレームの上に取付けます。この時 2 個の 38mm プラスボルトで固定します。
もう 1 個の上部サイドフレーム（D）も、同じ手順で取付けます。
この手順をを繰り返します。

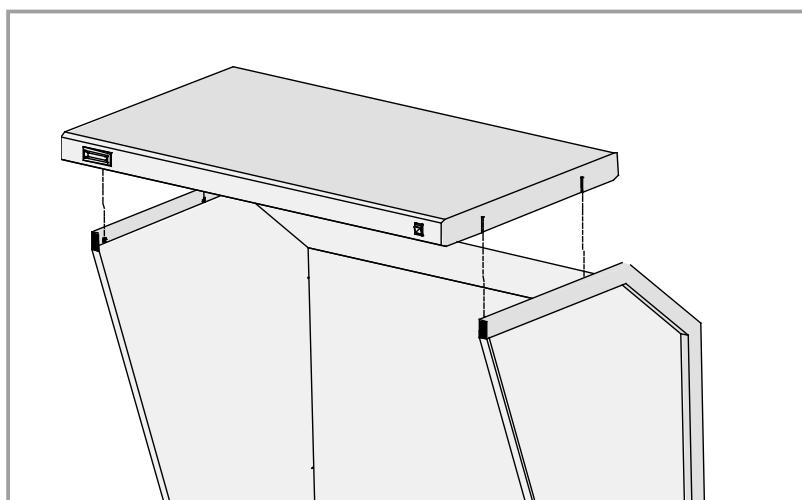
次いでフロントテーブルサポート（F）の片側を 2 個の 19mm プラスネジを用いて、上部サイドフレーム（D）のスチールパイプの下側に取付けます。

Step 3

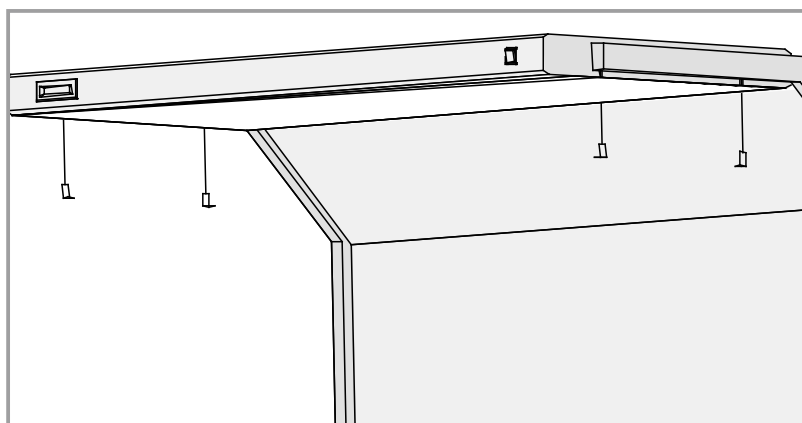
左図のように、最上部リアパネル（F)、上部リアパネル（G)、中間リアパネル（H）を上部サイドフレーム（D）へ取り付けます。
左図に示されるように、各パネルの折り曲げられた端が上向きになるようにしてください。

これには、13mm ワッシャー付プラスネジを使用します。下図のようにグレイネジカバーをかぶせてください。

Step 4

グレイにラミネート加工された左側作業台（I）を両側のサイドフレーム上にスライドさせます。この時、グレイの金属端がユニットの手前にに来るようにしてください。ここで左側作業台（I）を 4 個の 13mm 木ネジで固定します。

左図のように、マグネット式のコピーグリップ（J）を取付けます。

Step 5

別売りの２枚のサイドウォール（K）は､上部サイドフレームと作業台の間に挟み込みます。正確に取付ければ、サイドウォールの「V」字の切り込みはリアーパネルをおさえるネジと並びます。そしてサイドウォールの底辺は作業台を支えている棚の上におさまります。このサイドウォールは折り曲げられた面を外側に向けて取付けてください。

Step 6

ルミナーレ（照明器具）の両側のスロットをEVSの上部サイドフレームの取付け位置に、静かに落とします。ON／OFFスイッチがユニットの正面右側に来るように取付けてください。

Step 7

次はアングルクリップの取り付けです。クリップをルミナーレ（照明器具）にあるスロットに取り付けて下さい。

EVS-1 の操作

EVS-1 ユニットが完璧に組み立てたら、AC コンセントに電源プラグを差込んでください。このユニットには上部のルミナーレ（照明器具）に電源スイッチがあります。

コピーグリップは EVS-1 の正面パネル上部にあります。この使用方法は、プリントをスチールのロールの下に挟んでください。プリントは自動で吊り下がり、落ちてきません。外す時はプリントを下に引っ張るだけです。

ライトガード II の操作

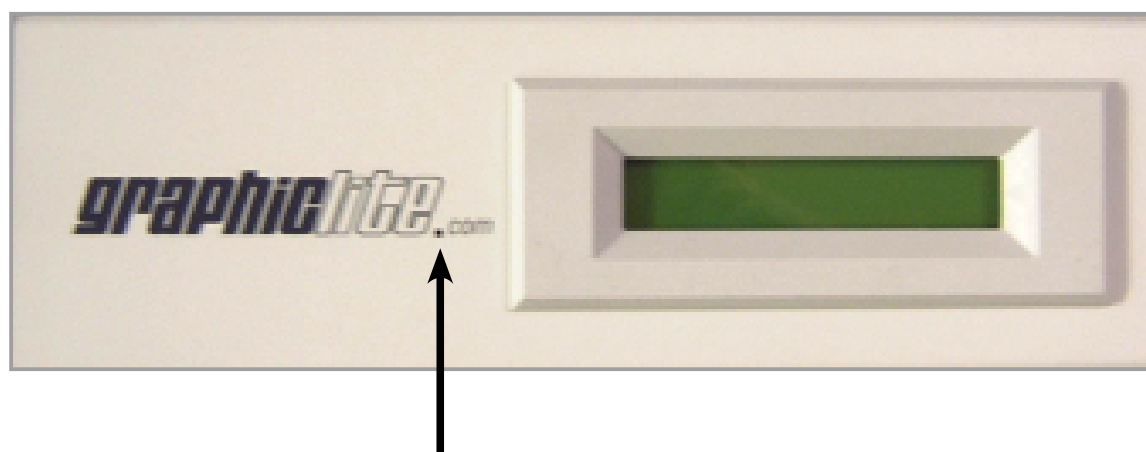
ビュワーにおける不完全な色が出現する主な原因は、過度に長い間ランプを使用したことによるものです。ビュワーの使用時における一般的な誤りは、ビュワーの蛍光ランプが完全に暖まる前（安定する前）に色判断をしてしまうことです。
このような乱用は結局のところ、標準的な照明のもとでの基本的な目的を無効にし、不正確さやバリエーションの多いビュワーだったという結果に終わってしまうことがありえます。カラーマメージメントを効果的に行うには、正確で一貫した条件が必要です。

ライトガード II ビューイングシステムモニタは、視覚的バリエーションが存在するという事実に対して注意をうながす一連の音声信号や視覚的信号を提供します。さらに D5000 の環境が、作業をするために作られた光の品質が正しく提供していることを示します。

ライトガード II の使用とメンテナンス

ライトガード II はそれまでに使用した時間を記録するソリッドステートモニターです。また、自動的に使用時間が 2200 時間を上回った時や、使用時間が有効的なカラーを提供出来る 2500 時間を越えたかを表示します。また、ライトガード II はウオームアップタイムも表示し、これによりビュワーが安定した状態に達しているかどうかを表示します。

ランプ交換手順

古いランプを留め具からはずして、専用の新しい Graphic 100 ランプに交換します。ランプ交換の後ユニットの電源を入れ、下の図で矢印で示される graphiclite.com の穴があるリセットスイッチを針金状の物で押して下さい。すぐにブザーが 3 回鳴り、そしてタイマーは 0 にリセットされます。

クリーニング及びランプの交換

ビューイングエリア内側と照明器具の内側は、定期的に刺激性の少ない洗剤と水によるクリーニングが必要です。作業台表面は、より強い洗剤によるクリーニングが可能なプラスチックラミネートです。照明器具下部にあるカバーは、照明器具の先端の2個のつまみネジをはずすことにより開きます。もしCVXが埃の多い環境のもとで使われるようなら、埃などの蓄積が光出力を減少させるので、照明器具はより頻繁にクリーニングしてください。

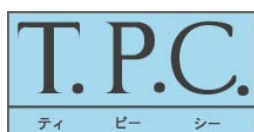
この特別仕様の蛍光ランプは10000時間を越える寿命を持っています。しかし長く使用するとカラー品質が低下するため、照明器具のランプは2500時間ごとに交換してください。
D5000世界標準ビューイングを維持していくには、Graphiclite 100ランプの交換が必要です。

D5000 世界標準ビューイング

ISOは3664：2000と呼ばれる「ビューイングコンディションー印刷と写真」と表題の付けられたビューイング標準規格を確立しました。この標準規格は、広告代理店、製版業者、印刷業者、クライアントの皆様をはじめ、グラフィックアート関係で働く皆様に、一貫した色評価環境を提供するためにつくられました。

この標準規格のコピーはANSI、www.ANSI.org、またはwww.ISO.orgから有料で入手可能です。この標準規格は光源とビューイング環境に関する､5つの照明／ビューイング要素の技術的的な集合から成り立っています｡その要素は､光の品質、光度、照明の均一性、照明とビューイングの幾何学性、照明環境です。

グラフィックライトCVXはISO標準規格3664：2000の仕様に沿って設計・製造されています。ただし、正しく設置して、されに正しいメンテナンスのもとで、はじめてグラフィックライトCVXは、D5000世界標準環境として機能します。CVXユニットにおいてD5000が”厳しい許容範囲”を伴う観察条件を維持していくためには、Graphiclite 100ランプの使用が不可欠です。

製造元
GTI Graphic Technology, Inc.
Newburgh, NY U.S.A.

グラフィックライト日本輸入・発売元
http://www.kktpc.co.jp
株式会社 ティピーシー
〒150–0002 東京都渋谷区渋谷3-15-1 テルイチビル5F
Tel.03-5468-0231 ／ Fax.03-5468-0320